

5 社会福祉学研究科

(1) 修士課程

応用力・指導力・実践力を兼ね備えた広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 社会福祉学専攻

社会福祉学のより新しく高度な知識や理論、技術を修得し、その高度な教育成果と研究成果の還元を通して、広く社会福祉に貢献できる研究者や専門的実践者を養成することを目的とする。

授業科目	必修	選択	備考
基礎領域群			修了要件
仏教社会福祉特論	2		基礎領域群から4単位、ゼミナール群から教育福祉研究ゼミナールあるいは社会福祉研究ゼミナール8単位を必修とし、基礎領域群、社会福祉領域群、教育福祉領域群から18単位以上の計30単位以上を修得したうえ、修士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
社会福祉特論		2	
教育福祉特論		2	
社会福祉・教育福祉の研究法	2		
社会福祉領域群			
地域福祉特論		2	
社会保障特論		2	
子ども家庭福祉特論		2	
高齢者福祉特論		2	
障害者福祉特論		2	
ソーシャルワーク特論		2	
福祉社会学特論		2	
権利擁護・司法福祉特論		2	
非営利組織特論		2	
精神保健福祉特論		2	
子ども支援特論		2	
社会的養護特論		2	
教育福祉領域群			
セクシュアリティ特論		2	
特別支援教育特論		2	
生命倫理特論		2	
発達心理学特論		2	
教育学特論		2	
教育相談特論		2	
健康教育特論		2	
音楽教育特論		2	
造形教育特論		2	
ゼミナール群			
社会福祉研究ゼミナールⅠ		2	

社会福祉研究ゼミナールⅡ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅢ		2	
社会福祉研究ゼミナールⅣ		2	
教育福祉研究ゼミナールⅠ		2	
教育福祉研究ゼミナールⅡ		2	
教育福祉研究ゼミナールⅢ		2	
教育福祉研究ゼミナールⅣ		2	

(2) 博士後期課程

福祉学を高度に応用し他の専門領域と共働して指導的立場に立てる広義の社会福祉研究者・実践者を養成すること、ならびに、そのために必要な教育研究を行うことを、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的とする。

① 社会福祉学専攻

授業科目	必修	選択	備考
研究指導			修了要件
選択必修科目			指導教授について毎週1回以上、3年間にわたり研究指導を受けること。
社会福祉特殊講義Ⅰ		2	選択必修科目から12単位以上を取得し、かつ博士論文を提出し、審査および最終試験に合格すること。
社会福祉特殊講義Ⅱ		2	
社会福祉特殊講義Ⅲ		2	
社会福祉特殊講義Ⅳ		2	
社会福祉特殊講義Ⅴ		2	
教育福祉特殊講義Ⅰ		2	
教育福祉特殊講義Ⅱ		2	
教育福祉特殊講義Ⅲ		2	
教育福祉特殊講義Ⅳ		2	
教育福祉特殊講義Ⅴ		2	